



2013～2015 年度 中期経営計画修正について

ソラシド エア(スカイネットアジア航空株式会社 本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:高橋洋)は、この度、2013～2015 年度中期経営計画の修正計画を策定致しました。

現在、当社を取り巻く環境は、原油価格の高止まり、円安の進展が厳しさを増し、競合他社との競争も激化しています。今般、このような経営環境の変化に鑑み、現在の計画を一部修正することと致しました。

当社は、2013～2015 年の経営ビジョンとして、「新たな成長に向け、強いソラシドエアになる」を掲げ、安全運航を経営の最重要課題としながら、“空から笑顔の種をまく”ソラシドエアらしさあふれるサービスの提供と、本邦新規航空会社トップレベルのコスト競争力達成とともに、「九州・沖縄の翼」として路線ネットワークの拡充を図っております。

この経営ビジョンを着実に実現するために、この度の修正計画を確実に達成し、新たな成長を目指して鋭意努力してまいります。

【今後の主要な取り組み】

安全・運航品質の更なる向上、コスト削減、生産性向上の取組みに加えて、顧客基盤の強化を積極的に推進してまいります。当社の強みである女性層や九州・沖縄に地縁のあるお客様の一層の取り込みを図るため、従来通り使い勝手の良いリーズナブルな運賃の提供を行いつつ、“空から笑顔の種をまく”を軸とした“親しみやすさ”が感じられるサービスを展開し、九州・沖縄と共に発展する企業活動(=地域戦略)を強化してまいります。

1. 定量目標 ※下線箇所が修正

- 財務目標 : 最終年度の営業利益率 4%以上・ユニットコスト 8.5 円台
運航品質 : 就航率 99.0%・定時出発率 95.0%以上 (2014 年度 93.0%以上)
サービス品質 : JCSI*における顧客満足度調査(顧客満足項目)のトップ
*サービス産業生産性協議会が実施する顧客満足度調査

2. 事業計画

(1) 機材計画

- ① 2014 年度下期から全保有機を B737-800 に統一し、11 機体制とする
(内訳:稼働機 10 機 / 控除機 1 機)
※ 2014 年 10 月時点での平均機齢は、1.7 年
- ② 2015 年 4 月(ライン投入)に B737-800 を 1 機増機し、12 機体制とする
(内訳:稼働機 11 機 / 控除機 1 機) (投入路線については 2014 年秋までに決定)
※ 2015 年 4 月時点での平均機齢は、1.9 年

(2) 路線・便数計画

- 国内線 需給動向を勘案の上、既存路線便数の見直しや12号機を活用した路線ネットワーク拡充を検討する
- 国際線 将来の国際線運航を視野に、2015年4月以降、チャーター便運航で実績作りを行い、オペレーション・サービス品質の向上およびノウハウの蓄積を図る

3. 利益目標

本中期計画期間の最終年度となる2015年度3月期において、**売上高392億円、営業利益率4%以上**を目指します。

(単位:億円)	2014年度	2015年度
売上高	358	392
営業利益	16	16
営業利益率	4.6%	4.3%
当期利益	1	10
ユニットコスト	8.4円	8.5円
提供座席キロ(百万) (2013年度比)	4,083 (105%)	4,429 (114%)
為替前提(¥/\$)	105円	110円
原油単価前提(\$/B)	105ドル	105ドル

以上